

新年のご挨拶



新年明けましておめでとうございます。

昨年中は久留米大学病院に多大なるご厚情を賜りましたことを心より御礼申し上げます。医療連携センターは地域医療機関との連携充実、円滑化に取り組んでまいりました。

昨年は総合診療棟に「休憩コーナー」を新設し、飲み物の自動販売機や様々な情報資料を揃えたリーフレットラック「健康の泉」を傍らに設置しました。また、各診療科紹介DVDを作成し、待ち時間などに見て頂けるようになっています。紹介予約センターでは従来からのFAXや医療機関からの電話予約に加え、昨

年5月以降紹介状をもつ患者さんからの電話予約を開始しました。この取り組みは現在10診療科に限定して行っていますが、今後より多くの診療科で様々な紹介方法に対応できるよう更なる改善に努めてまいります。

今後も皆さまの貴重なご意見を基に、より良い地域医療連携を構築するため頑張っている存ですので、ご指導・ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

本年が皆さまにとりまして良き年になられますことをお祈り申し上げます。

平成31年 1 月

医療連携センター長

渡邊 浩

病院執行部体制

病 院 長	八 木 実
病院長特別補佐	志波 直人
副 院 長	鳥村 拓司
	上野 高史
	田中 芳明
	渡邊 浩
	福本 義弘
	高須 修
	上野 知昭

私たちの理念

人と地球にやさしい、いのちを慈しむ医療

私たちのめざす医療

- 1. 患者中心の医療**
生命の尊さにもとづき、患者や家族の権利を尊重し、心のかよう医療を行います。
- 2. 共生の医療**
地球環境にやさしい共生の医療をめざします。
- 3. 高度で安全なチーム医療**
安全性を確保し、高度で専門的なチーム医療の確立をめざします。
- 4. 地域と共に歩む医療**
地域医療機関との連携を密にした、継続性のある医療を行います。
- 5. 優れた医療人の育成**
教育機関として高水準の医療技術と思いやりを備えた医療人の育成に努めます。

TOPICS 1

ダヴィンチを使用した胃癌手術について

外科学講座 助教 磯邊 太郎

胃癌の罹患率は年々減少傾向にあるとはいえ、わが国では未だに2番目に多い癌種であり、年間13万人の方が罹患され、4万7千人の方がお亡くなりになられております。

この10年間で腹腔鏡を用いた胃切除術が広く普及しました。開腹手術と比べ出血量が少なく、傷も小さいため痛みも少なく、早期の離床・早期の社会復帰が可能です。また、整容性にも優れております。しかし、関節機能がない長い鉗子操作による手振れや角度などの限界点があり、技術的には難易度が高く習熟に時間を要します。今回ご紹介するロボット支援下胃切除術は、これまでの腹腔鏡下手術の利点をさらに向上させうる次世代の医療技術です。

手術支援ロボット、「da Vinci」を使用する主なメリットとして、①人の関節以上の可動域を持つ多関節機構、②高解像度3D画像、③鉗子の震えをコンピューターで除去するFiltering機能などが挙げられます。da Vinciを用いることで、外科医は自然な奥行き感が得られる立体的な画像を見ながら、手ブレ防止機能と自由に曲がる多関節鉗子を操って、複雑で細やかな動きをすることができ、より繊細で安全性の高い治療が期待されています。実際に厚生労働省管理下で実施された臨床試験において「Grade III以上の術後腹腔内合併症」が腹腔鏡下手術よりもロボット支援下手術で少ないことが明らかになり、2018年4月に保険収載となりました。

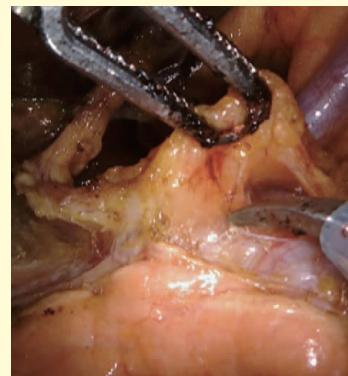
当院におきましては、2016年6月より泌尿器科において前立腺癌・腎癌のロボット支援手術を開始されすでに150例以上の実績を積んでおり、麻酔科医師・看護師・臨床工学士を含めたda Vinciチームは豊富な経験を有しております。また、当科では2018年2月よりロボット支援下胃切除術を開始しました。同年10月末時点で10例に当術式を施行し施設認定を取得しました。また、2018年中には直腸癌、肺癌、子宮癌に対するロボット支援手術も予定されており、筑後地区における癌治療に大きく貢献できることが期待されます。



da Vinci Xi surgical system



手術風景



脾上縁リンパ節郭清

TOPICS 2

ウイルス性肝炎治療の進歩

内科学講座（消化器内科部門） 准教授 井出 達也

B型、C型肝炎の治療は近年劇的に進歩しています。C型肝炎では、2014年に本邦初の直接作用型抗ウイルス剤（DAA：Direct Acting Antivirals）の内服薬が承認され、多くのDAAが承認されました。最新のDAAは、安全性が高く、短い期間（現在は最短8週間）で高い効果が得られ、ほぼ100%の著効率です。透析例や心疾患例、膠原病などの合併症をかかえる患者でも治療は容易です。C型肝炎患者は高齢化していますが、高齢者では肝硬変まで進展する前に発癌する例や肝機能が正常の例からも発癌例があり注意が必要です。肝癌へ進展してからでは、DAAで治療しても癌の再発は抑制し難く、早期の治療が必要です。一方、B型肝炎は核酸アナログ製剤（内服薬）の質が向上し、内服を続ける必要はありますが、ウイルスのコントロールは容易になりました。このように治療が容易になったいまこそ、すべての患者さんがその恩恵を受けることができるような様々な対策が盛んに行われています。私共も地域の先生方と連携し診療を促進したいと考えております。消化器病センターでは毎日肝炎の専門家が診療しておりますので、いつでもご相談、ご紹介いただければと存じます。

認知症医療センター研修会のご案内

本院は、平成23年11月15日に福岡県認知症医療センターの指定を受けており、認知症の診断・治療のみならず、地域における医療と介護のネットワーク推進や啓発活動に取り組んでいます。その一環として、地域の医療機関や介護施設、行政機関、地域包括支援センター職員等を対象に、認知症事例検討会や研修会等を開催しております。詳細や申し込み方法は、[久留米大学病院福岡県認知症医療センターのホームページ](#)に随時掲載しておりますので、そちらもご覧ください。

平成31年2月2日(土) 【地域住民向け】

福岡県地域住民・家族介護者向け認知症公開講座

会場：石橋文化センター共同ホール



紹介予約センター『患者さんからの直接電話予約』のお知らせ

医療機関の先生方、医療連携ご担当の皆様におかれましては、いつも紹介予約センターをご利用いただき、お礼申し上げます。

平成30年5月7日から、紹介予約センターでは患者さんからの直接電話予約を開始いたしました。随時、直接電話予約可能な診療科の拡大をおこなってまいります。今後とも紹介予約センターをご利用いただきますようよろしくお願いいたします。

【患者さんからの直接電話予約 実施診療科（全10科）】

泌尿器科、歯科口腔医療センター、脳神経内科（内科総合外来）、腎臓内科（内科総合外来）、
膠原病（内科総合外来）、緩和ケアセンター、内分泌・糖尿病センター（内科総合外来）、
呼吸器病センター、乳腺外科・一般外科、小児外科

※医療機関の先生方、医療連携ご担当様からの電話・FAXによる従来のご予約方法は変わりません。

※詳細なご予約方法につきましては、当院より発行いたしております「久留米大学病院 外来担当医・専門領域一覧表」や久留米大学ホームページ（<http://www.hosp.kurume-u.ac.jp>）→医療機関の方へ→患者さんのご紹介のページをご覧ください。

※患者さんからの直接電話予約決定後、受診予約決定通知書を紹介元医療機関へお送りいたします。スムーズな受診につなげるため、診療情報提供書を事前にご提供いただきますようご協力をお願いします。

ご注意ください!!

紹介予約センターでは、再来予約（各科受付）およびセカンドオピニオン（0942-31-7903）予約を除く「初診患者さんの予約」をおこなっております。

（お問い合わせ先）

久留米大学病院 紹介予約センター

電話：0800-200-4897（フリーダイヤル）

0942-27-5673（携帯・PHS）

受付時間：月～金曜日 8：30～18：00

土曜日 8：30～14：00